

長野県飯田市		●活動名 座光寺の子どもを語る会				●関係する学校名 飯田市立座光寺小学校					
協働活動開始年度	平成 21 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	11 学級	のべ児童生徒数	241 人	体制図 			
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習		—		—					
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数 1人		地域学校協働活動推進員等の数 3人		配置人数 3人		—				
学校運営協議会	指定・設置日 平成29年3月15日設置	ボランティアの数	延べ登録人数 97人		企業・NPO等との連携		無				
参考URL	—										
●連絡先		座光寺公民館			☎ 0265-22-1401						

●活動の概要・経緯

座光寺の子どもたちの健全な育成をねがい、学校・保護者・地域の三者が集い、子どもの現状についての情報共有を行っている。また、話題になったことから、それぞれの立場でできることを考え、学校支援や協働活動に繋げて取り組んでいる。

小学校が主催して、子どもたちの健康・体格・食事等を話題にした「学校保健委員会」を実施していたが、平成21年に地域の中から『座光寺の子どもを語る会』という地域学校協働の機運が高まり、「座光寺の子どもを育てる」という視点で公民館がコーディネーター役となり、「座光寺の子どもを語る会」を開催することとなった。また、併せて連絡会（のちに推進委員会へ変更）を発足させ、小中学校、保育園、保護者や子どもに関わる地域住民が定期的に集い、『座光寺の子どもを語る会』の企画や、学校の話題、地域の話題等を共有する会とした。『地域と学校との結びつきを深める』機会として大事にし、協働活動に繋げている。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①「座光寺の子どもを語る会」：年1回地域の大会として開催する。子どもの現状について情報交換し、それぞれの立場で自分に何ができるかを考え、共有する機会とする。
- ②地域と学校の密な連携と学校運営協議会との連携：「座光寺の子どもを語る会」推進委員会では、各団体の代表者が定期的集い、子どもに関わる話題の情報共有を行う。また、会員より学校運営協議会委員を選出し、連携を図っている。
- ③学校のニーズに沿った支援：先生方にアンケートを取り、家庭科などのきめ細かい技術的指導やクラブ活動などの専門的指導が必要な内容に対して、地域住民よりボランティアを募集し、学校支援する。
- ④放課後子供教室の実施による多様な学習機会の確保：歴史や文化の学習、科学実験など、世代間交流と共に、子どもたちに体験的な学びを通じて郷土愛を育む。

【実施に当たっての工夫】

- 公民館がコーディネーター役を担うが、協働活動を行う際に、以下の点を留意している。
- ①地域で活動する多くの人を繋ぎ、多様な学びの機会が選択できるように心掛けている。
 - ②学校や保護者、地域のそれぞれがどのような思いやねがいをもち、取り組もうとしているかを共有することからはじめ、活動の具体を共に計画する。
 - ③子どもたちに関わる大人が、「自分に何ができるか」を考え行動する自主性と主体性を大切に、活動を通して「誰かの役に立っている」という自己有用感と充実感を持ってもらう。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

地域住民にとっては、子どもたちの現状について学校と情報共有することで、ますます「地域の子どもは地域で育む」意識が高まり、子どもたちの健全な育成や学校支援について考え行動する姿が増えてきている。また、その様子を広報誌などで紹介することにより支援の輪が広がっている。

地域学校協働活動を通じて、学校からは「地域が身近に感じられて、とても良い環境で学習ができています」という評価が伝えられ、子どもたちからは「Mさん、親切に教えてくれてありがとう。」という感謝の想いが聞こえてきている。また、学校支援に関わる人は、「子どもたちの笑顔が見られて、こちらが元気をもらっている。」と、やりがいを感じ、うれしさを感じている。地域も学校もお互いに良い影響を受け、子どもたちの成長を支えている。

●その他

「座光寺の子どもを語る会」の話題から、学校支援や協働活動が進み、学校内で多様な地域の大人との交流が図られている。学校、保護者、地域の「ねがいの共有」が活動をスムーズで活発なものにしている。



と学校の顔合わせ会
と児童



ミシンを使った巾着づくり
(家庭科授業補助)